

副専攻プログラム説明書

開設学部(学科)名〔教育学部(第一類)〕

プログラムの名称	(和文) 特別支援教育教員養成副専攻プログラム
	(英文) Special Needs School Teacher Education
1. プログラムの紹介と概要	
<p>本プログラムは、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の理解と特別支援教育の基礎的事項の習得を目的としている。一人ひとりのニーズに基づく教育のあり方は、通常の学校の教育を担う教員にも参考となる点が多いであろう。</p>	
2. プログラムの到達目標	
<p>障害のある幼児・児童・生徒を理解し、特別支援教育の概要を習得し、個に応じた指導のあり方を理解できることが、本プログラムの到達目標である。</p>	
3. プログラムの履修時期・要件	
<p>(1) 履修開始時期とプログラム登録時期</p> <p>副専攻プログラムの開始時期は、2年次である。授業科目の履修開始前にプログラム登録をしておくこと。</p> <p>(2) プログラム選択のための既修得要件(履修科目名及び単位数等)</p> <p>既修得要件は特に設定しない。</p> <p>(3) 履修上の注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「特別支援教育総論」を必ず履修すること。 ・特別支援学校教諭免許状を取得することはできない。 	
4. 教育内容・構造	
<p>特別支援学校教諭免許状における教育の領域のうち、視覚障害、聴覚障害、知的障害および肢体不自由に関する科目を主として構成している。</p> <p>別添の履修表に示す専門科目から、合計16単位以上を履修すること。</p>	
5. 授業科目及び授業内容	
<p>※ 授業科目は、別添の履修表を参照すること。</p> <p>※ 授業内容は、各年度に公開されるシラバスを参照すること。</p>	
6. 評価	
<p>(1) 試験・成績評価</p> <p>授業科目の成績評価は、秀、優、良、可および不可の5段階評価とする。</p> <p>(2) 修了判定の基準</p> <p>履修表に掲げる科目のうち、必要な単位数を取得すること。</p>	
7. プログラムの責任体制	
<p>責任者：特別支援教育学講座講座主任</p> <p>担当者：特別支援教育学講座の専任教員及び附属特別支援教育実践センターの専任教員</p>	
8. プログラムの受入上限数	
5人	

9. プログラムの既修得単位等の認定単位数等

(1) 他大学等における既修得単位等の認定単位数等

0単位

(2) 広島大学における既修得単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)の認定単位数等

0単位

【副専攻プログラム履修に関する注意事項】

○主専攻プログラムの授業時間割の関係で、登録した副専攻プログラムの授業科目履修が制限されることがある。

○副専攻プログラムで開設されている授業科目も、本学共通の平均評価点(GPA)の計算対象に含まれる。

別表

特別支援教育教員養成副専攻プログラム 履修表

科目区分	授業科目	開設 単 位 数	学期別週授業時 数 (履修期)						要 修 得 単 位 数	開 設 学 部	備 考
			3 セ メ	4 セ メ	5 セ メ	6 セ メ	7 セ メ	8 セ メ			
専 門 科 目	特別支援教育総論	②	2						2	教 育 学 部	主専攻プログラムでは1セメ
	視覚障害教育基礎論	2			2				14		主専攻プログラムでは2セメ
	視覚障害心理学	2		2							主専攻プログラムでは1セメ
	聴覚障害教育基礎論	2			2						主専攻プログラムでは2セメ
	聴覚障害心理学	2		2							主専攻プログラムでは1セメ
	知的障害教育基礎論	2	2								主専攻プログラムでは2セメ
	知的障害心理学	2	2								主専攻プログラムでは1セメ
	肢体不自由教育基礎論	2	2								主専攻プログラムでは2セメ
	言語障害教育総論	2		2							主専攻プログラムでは5セメ
合計								16			

〈履修上の注意〉

1. 開設単位数欄の○印は必修を表す。